

# 陸別小学校



ワークスペース



南側外観

建築主	陸別町
所在地	北海道足寄郡陸別町字陸別原野基線 331-1
敷地面積	26,987.00m <sup>2</sup>
建築面積	4,193.83m <sup>2</sup>
延べ面積	3,861.82m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造および木造
階数	地上1階
最高部高さ	GL+6.88m
駐車台数	37台
工期	2010年4月～2011年3月

厳冬期には -30℃を下回る「日本一しばれるまち」陸別町の小学校の建替え計画である。夏冬の寒暖差 70℃という厳しい自然環境に適応し、自然を活かした環境負荷低減を図る工夫を目に見える形で織り込み、環境学習教材としての校舎づくりを行った。さらに地場産木材を構造体や、内装に積極的に活用し、親しみやすく暖かい学校を目指した。校舎北面は鉄筋コンクリート造外断熱で耐震性能を確保すると共に熱負荷を抑制、南面は垂直荷重のみ負担する開放的な木構造とし、熱負荷のコントロールと構造形式を合致させたハイブリッド構造とした。校舎の中心となる多目的ホールの屋根には、子供たちのアクティビティに合わせた空間ボリュームと周辺の山並みになぞらえた大小の膨らみを持たせた。木架構による変化に富んだ空間が子供たちの創造力を刺激することを意図している。